

■第2回のまとめ（全体）

前提条件（地方分権と公共性）

●自治基本条例の背景（地方分権）

- ・地方分権改革。地域のことは地域が決める。888市町村が出来、そのもとに住民がいる。そこで地域を作っていく。
- ・自治基本条例が偶発的に議論され始めたものではなく、政治的、社会的、経済的状況変化を背景にしていると実感した
- ・中央集権から地方分権に変わっていく流れのとき、財源においても目的を定めたひもつきから一括交付金で地方財政の活力が求められています。時代にあわせた自治基本条例検討会は時期を得た施策であると思う。それぞれ地方でも特色が異なる。
- ・地方分権の課題とは？具体的には事例？

●公共性とは（市民としての3つの顔）

- ・市民としての3つの顔 1. 私的領域、 2. 公的領域、 3. 協働の領域
- ・私的・公的の間の中間領域について自治基本条例がどのような規定を置くことができるか考えさせられた
- ・私、私たち：自助・互助、みんな：共助・公助
- ・公と私と第3種
- ・私と公共・共有という考え方の整理・区分
- ・ごみ処理の問題など、個人的な難しさを感じました
- ・子供との同居率。現在は25%程度だと知りました。最近孤立化等の問題が起きている。これをどうにか防げないか。
- ・お年寄りとその子供の同居率が昔に比べて低くなっている事に改めて気づいた。家族のつながりも薄くなってきている。



自分たちでまちを治める

●自分たちでまちを治める

- ・自分たちでまちを治める（ワクワク感がある）
- ・“行わせる”から“行う”
- ・村を治めるルールづくりが今の自治の土台となったことがよく分かった
- ・市民が連帯して動く必要性を感じられた
- ・自分たちでまちを治めること
- ・昔に比べて問題が多様化しており、自治力は大事だと思った
- ・他人任せにするのではなく、参加する
- ・私達一人一人が住みやすい街にできるのだと改めて感じました



協働のまちづくりと役割分担

●市民の役割

- ・市民としてのルールを守る
- ・常にアンテナを出しておく
- ・障害のある者として助け合う心を持ちたいと思います
- ・主権在民一責任在民
- ・市民の生活基盤の作り方
- ・全ての市民が公の一員であるという意識があると良い
- ・決まりを守らぬ人、どこにもいろんな人がいる。決まりを作っても必ず破る人がいる。これを少しでも減らす方法は？と思う。
- ・公共市民とは？

●協働のまちづくり

- ・協働に対する意識の問題
- ・地域の住民としての協働、行事への参加
- ・担う心
- ・協働
- ・協同社会—話し合い理解
- ・市民の協働とは？どんなことをするのか、どんな方向があるか。
- ・ボランティアができ、NPOができ、市民たちの活動が活発になったが、自らが言い分を言う人が出て、まとまらないことも
- ・和を大切に（昔の日本人）
- ・各人の意見の調和を図る
- ・相互尊重が軸（協働の前提として）
- ・連帯

●行政、議会の役割

- ・議会—住民—行政の在り方が非常に難しいのがよく分かった
- ・決定の場ではない（最後の議会）
- ・危機管理ができる。小規模な自治の必要性
- ・自治体の在り方
- ・政府をうまく動かす手とは？

●地域コミュニティ

- ・地域コミュニケーションの在り方
- ・他人への思いやり、向こう三軒両隣
- ・高齢者二人の生活です。いろいろと不安です。周りの方々のコミュニケーションを願っています。
- ・村の協働を守らぬ罪（52位あります。近所のつながりを大切にしたいと思います）
- ・連帯して地域で動く
- ・近隣自治力の低下を常に感じます。日頃からなるべく近隣の方々と会話を心がけていたと思います。
- ・地域のことは地域で決める
- ・心許せる地域をつくる
- ・地域力

検討にあたって

●検討過程

- ・出来栄えより過程が大事。条例で決めたことがどのように市民に吹き込まれるか。長い目で見極めたい
- ・自己主張をしない
- ・一人一人の意見を尊重して強制しない
- ・議会で通るような(説得力のある)条例づくり
- ・私の周辺の市だけでなく全体を見まわして考える必要があると感じた
- ・ものごとは過去・現在・未来があり、今は現在と未来でのルーツの大切さを学び、絆・感謝の心を育む教育を求めない、損か得か、メリットデメリットより善か悪かで事を進めるべき

●推進体制

- ・自治基本条例の検証を行う方法

●感想

- ・二回目で本当に理解できました。これからも学んでいきたいと思えます。
- ・先生の本の難しさが言葉になれば親しみがわく。そのような形で市民の皆様に条例が広まると良い。
- ・まちづくりの基本を学べた
- ・何をやらなければ良いのか参加の中で勉強させて頂きたい